



学校だより

令和6年 4月 8日

No. 1 4月号

横浜市立瀬谷第二小学校

校長 山崎 由美

学校教育目標

友情わく かわく 希望わく 毎日わくわくする学校



“子どもを主語”にアップデートする年に

校長 山崎 由美

ここ数年3月中に桜が満開になることが多かったのですが、今年は横浜市でも4月1日に桜の開花宣言がされ、今日の始業式・入学式に向けてゆっくと春の息吹が感じられるようになってきました。タイパという言葉が生まれるくらいスピードと効率を求める世の中において、慌てずにゆっくといいのだと自然が教えてくれているようです。

令和6年度が始まりました。昨年5月に新型コロナウイルス感染症が2類から5類に引き下げられ、昨年度は今まで当たり前に行っていたことを再開できるようになってきました。学校生活でも対面での給食や様々な人とのかかわりをもった学習活動など子どもたちの笑顔が戻ってきました。今年度は、その学校の「当たり前」を単純に今まで通りに戻すのではなく“子どもにとってどうか”という視点でアップデートしながら教育活動を行っています。

“子どもが主語”と言われ数年が経っています。できることが増えてきたからこそ、今までやっていた通りではなく、子どもが成長できる活動になっているか、子どもが自己決定できる場はないか、そういう視点で活動を考えていきます。

その中で、特に大切にしたいことは地域や外部機関とのかかわりです。この3年間、3密の回避という言葉で人とのかかわりに大きく制限がかかりました。マスク越しで人の表情から感情を読み取る経験をあまり積むことができませんでした。子どもの人生にとってこの3年は大きいです。本来たくさんの人とかかわりながら学ぶべき時期に豊かなかかわりを奪われてしまった子どもたちだからこそ、私たち大人がこれからたくさんの“人やもの”とかかわる機会を作っていかなければならないと感じています。本校の子どもたちの素直さと吸収力があれば今年度、各学年が意図をもって計画した年間のカリキュラムから多くのものを吸収し、たくさんの学びを得ることができると思います。今年度は昨年度よりも様々な取組をさらにアップデートしていきます。

新1年生76名と新しい教職員を迎え、新たなスタートを切りました。進級に心躍らせている在校生も含めて、「みんながわくわくする学校」に向けて教職員一同、力を合わせてまいります。保護者・地域の皆様も変わらぬご支援とご協力をよろしくお願いいたします。



☆瀬谷第二小学校ホームページに、日々の学校の様子を、「わくわくレポート」として不定期でアップしています。合わせてご覧ください。

